

## 第2編

# サミット開催に向けて

# 第1章 誘致

## 1 経緯

サミットは、毎年各国の持ち回りで開催され、平成20(2008)年には日本の開催が予定されていた。道内での開催については、平成17(2005)年、札幌市を中心に誘致の動きがあったが、財政上の負担を主な理由として平成18(2006)年2月に誘致を断念した。

道外においては、平成17年5月からサミット誘致の動きが始まっており、平成18年末の時点で、3つの地域(関西サミット(京都府、大阪府、兵庫県)、開港サミット(横浜市、新潟市)、瀬戸内サミット(岡山県、香川県))で誘致活動が展開されていた。

平成18年12月末に「洞爺湖地域が候補に浮上08サミットで政府検討」との報道がなされた。道内でサミットが開催されることは、サミットに関連した報道を通して、豊かな自然に恵まれた北海道の姿、食や観光の北海道ブランドを全世界にアピールできる良い機会である一方、北海道が非常に厳しい財政状況下にあったことから、北海道での開催適地の調査、財政負担の検討を慎重に進めることとなった。

## 2 各団体・市町村からの要望

道として検討を進める中、洞爺湖周辺地域の地元や経済界・産業界からサミット開催誘致に向けての気運が急速に高まり、平成19(2007)年2月末から3月初頭にかけて、合計で7件の要望書が道に寄せられた。

### 【地元市町村等からの要望】

2月28日	胆振管内11市町村
3月2日	洞爺湖周辺観光協会・商工会
3月2日	洞爺湖町長、洞爺湖町議会議長
3月2日	経済界・産業界(13団体)
3月5日	西胆振地区観光協会(9団体)
3月5日	胆振管内の4商工会議所
3月5日	胆振管内商工会連合会

## 3 議会議論

北海道議会においては、サミットの誘致についてこれまでも議論がなされていたが、平成18年末の新聞報道を受けて、平成19年1月9日(火)の道議会総合企画委員会で、事実関係や道としての今後の対応について質問がなされた。また、平成19年第1回定例会において、サミットが道内で開催された場合の効果や財政負担等に関し議論がなされた。こうした議論を経て、同定例会最終日の3月7日(水)には、「2008年主要国首脳会議の北海道開催に関する決議」が採択された。

## 4 誘致決定

洞爺湖周辺市町村や地元経済界をはじめ、道内経済界・産業界からの要望や道議会での決議を受け、平成19年3月7日(水)、北海道として、洞爺湖周辺地域での開催を誘致することを決定し、総理官邸と外務省に申し出を行った。

## 5 北海道の提案内容

近年のサミットは、市街から離れた会場で、かつ、イベント的色彩を薄めた「リトリート」型で開催される傾向にあること、また、京都議定書目標年度が平成20年度から開始されるなど、地球環境問題の節目の年であること、さらに本道の厳しい財政状況などを背景に、サミットの誘致に当たっては、次の3点を基本コンセプトとして、国に提案することとした。

### ①豊かな対話を実現する安全で静穏な環境

- ・市街地から離れた山上に安全で落ち着いた討議の場を確保
- ・洞爺湖、内浦湾をはじめとした豊かな自然を眺望する中、実りある対話の実現に向けた静穏な環境を提供

### ②近年の傾向に適合したコンパクトで効率的な開催

- ・首脳会議から宿泊までを同一施設内で確保したコンパクトな会合を実現

- ・既存施設を効果的に活用し、イベント的色彩を薄めた実質本位で効率的なサミットを開催

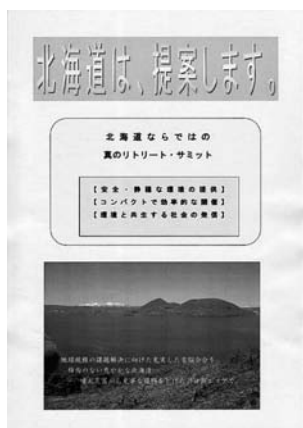
③自然と調和した北海道の地域づくりにより環境重視の日本を世界にアピール

- ・知床世界遺産やアイヌの人々の営み、有珠山エコミュージアム等、自然と共生する歴史と叡智が、印象深い会合を演出
- ・森林づくりの推進やバイオマス資源の利活用促進など、本道の取組を通じて我が国の環境重視の姿勢を効果的に発信

また、開催プランとして、首脳会議・宿泊についてはザ・ウィンザーホテル洞爺、プレスセンター(国際メディアセンター)については、札幌コンベンションセンター、札幌・つどーむ、ルスツリゾート、だて歴史の杜カルチャーセンターを提案することとした。

## 6 知事・洞爺湖町長・経済団体等による要請活動

平成19年3月12日(月)、道、胆振町村会、洞爺湖町、経済界・産業界の代表が上京し、北海道の提案内容を塩崎内閣官房長官、麻生外務大臣に説明し、北海道でのサミット開催を要請した。



知事が提出した「提案書」



知事から塩崎内閣官房長官に提案書と要望書を手交

### 【要請の概要】

要請先	塩崎内閣官房長官、麻生外務大臣、的場内閣官房副長官、河野外務審議官、本道選出国會議員
要請参加者	知事、胆振町村会会長、洞爺湖町長、北海道経済連合会会長、北海道商工会議所連合会会頭、北海道経営者協会会長、北海道経済同友会代表幹事、北海道観光連盟会長、北海道農業協同組合中央会副会長、ホクレン農業協同組合連合会代表理事常務

## 7 国による事前調査

北海道の開催誘致表明及び要請活動時に提出された提案内容を受けて、平成19年3月26日(月)から28日(水)の3日間、外務省等による政府調査団が来道し、関係施設等の視察を行った。当該調査は、サミット開催地決定にあたっての現地視察を目的としており、関西や横浜市等の他候補地においては、いずれも1月中旬から下旬の間に実施されていたものである。

なお、調査団来道の初日には、山本副知事が北海道提案の内容等について説明を行った。



政府視察団に提案内容を説明する山本副知事

## 8 2008年北海道サミット誘致推進協議会

サミットの道内開催を実現するため、北海道全体で誘致に取り組む体制を整備し、サミット誘致の気運を醸成し、官民一体となった誘致活動を行うため、平成19年3月26日(月)に知事を会長とする「2008年北海道サミット誘致推進協議会」が設置された。

また、4月17日(火)には、本協議会としての要請活動を実施し、サミットの道内開催を強く訴えた。



誘致推進協議会による中央要請（背中は、麻生外務大臣）

### 【誘致推進協議会の概要】

設置年月日	平成19年3月26日	
構成	会長	北海道知事
	副会長	札幌市長 北海道経済連合会会長 北海道商工会議所連合会会頭 胆振町村会会長
	構成団体	北海道経営者協会、北海道経済同友会、北海道商工会連合会、北海道中小企業団体中央会、北海道観光連盟、北海道建設業協会、北海道商店街振興組合連合会、北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会、北海道漁業協同組合連合会、北海道木材産業協同組合連合会、北海道市長会、北海道町村会
要請活動	実施日	平成19年4月17日
	要請先	麻生外務大臣、河野外務審議官、的場官房副長官
	参加者	知事、北海道経済連合会会長、北海道商工会議所連合会会頭、札幌市副市長、胆振町村会会長

## 9 開催決定

平成19年4月23日(月)16時23分、安倍総理大臣から高橋知事に直接電話が入り、「来年の主要国首脳会談の開催場所を、北海道洞爺湖町とすることに決定をしました。北海道の美しい自然環境の中で、環境をテーマとしてサミットを行うことについては、極めて有意義だと思います。」と、北海道での開催決定が伝えられた。

高橋知事からは、「地元として万全を期して準備を進めてまいります。」と回答した。

知事は、この後17時30分から臨時記者会見を開き、「国際的なイベントとしては最も重要な位置づけのものであり、北海道で開催することの重みというか、責任の重大さを思い、気が引き締まった。」と述べ、今後の取組への決意を示した。



開催決定後、臨時記者会見を行う高橋知事

## 10 開催日及び名称の決定

平成19年5月19日(土)、安倍総理大臣が首脳会議予定会場であるザ・ウィンザーホテル洞爺を視察した。また、その後、洞爺湖畔において記者会見し、開催日を7月7日(月)から7月9日(水)までの3日間とすること、名称を「北海道洞爺湖サミット」とすることを発表した。



提供：北海道新聞社、朝日新聞社、読売新聞社



洞爺湖畔を視察する安倍総理大臣と、同行した高橋知事、南山道経連会長、中川衆議院議員



サミットの日程及び名称を正式発表する安倍総理大臣

## 11 沖縄視察

サミット開催決定を受けて、道としての取組の参考とするために、前回日本でサミットが開催された沖縄県を事務レベルで複数回訪問・視察し、また、意見交換を行うなど、さまざまな情報収集を行った。

サミット開催まで4ヶ月余りとなった平成20年2月18日(月)から19日(火)にかけては、高橋知事が沖縄県を訪問し、2000年サミット開催時の知事であった稲嶺恵一前知事と面談し、地元としての関わり方等について貴重なアドバイスをいただいた。また、仲井眞弘多・沖縄県知事、知念榮治・沖縄県経営者協会会長とも面談し、サミット後の地域活性化等について意見交換を行ったほか、九州・沖縄サミット時に首脳会議場として使用された万国津梁館を視察した。

## 第2章 体制

### 1 道庁内の推進体制

#### (1) サミット開催決定まで

サミットの誘致を決定するまでの間、道庁内での関連事務は、知事政策部参事及び知事政策部知事室国際課が協力して担当した。

平成19(2007)年3月7日(水)に誘致表明を決定したことを受け、3月12日(月)には、道庁内に専任の参事1名を含む6名のプロジェクトチームが発足した。(4月1日付け人事異動により、プロジェクトチームは7名となった。)

#### (2) 北海道洞爺湖サミット推進局

4月23日(月)に、本道でのサミット開催が決定したことを受け、5月1日(火)付けで、専掌組織である「北海道サミット推進局」が知事政策部内に設置された。また、同日付で、知事政策部に参事監(部長級)が置かれ、実質的に事務方のトップとして北海道サミット推進局を率いることとなった。

プロジェクトチーム及び当初の北海道サミット推進局は、知事室国際課内で執務していたが、その後大幅な人員増が見込まれたことから、5月16日(水)からは、道庁別館12階の国際会議室を執務室として使用することとなった。

担当する職員は、人事異動により5月16日には5名、また、6月1日(金)には参事2名を含む23名が増員されて合計で35名体制となり、推進局の骨格がほぼ固まった。

なお、5月19日(土)にサミットの名称が「北海道洞爺湖サミット」と決定したことから、6月15日(金)には推進局の名称も「北海道洞爺湖サミット推進局」と改称された。

その後、外務省職員1名、市町村職員3名の派遣を含めて、平成20(2008)年6月15日(日)までに、北海道洞爺湖サミット推進局は51名体制(参事監を含む)となった。なお、胆振支庁在勤

職員と後志支庁在勤職員が各3名発令されており、それぞれの現地(主として洞爺湖温泉街、洞爺湖周辺胆振管内1市3町、留寿都村、真狩村)における調整に当たった。

### (3)北海道洞爺湖サミット推進本部

道庁内ではその専掌組織として北海道洞爺湖サミット推進局が設置されたが、サミット開催に向けた準備にあたっては、教育庁・道警本部を含む、全庁横断的な推進体制の構築が不可欠と考えられたことから、平成19年6月18日(月)、知事を本部長、副知事を副本部長とする「北海道洞爺湖サミット推進本部」が設置された。推進本部の所掌事項は、①サミットの円滑な実施を図るための総合調整、②サミットの受入態勢整備に係る連絡調整、③その他サミットの推進に必要な事項とされた。

＜北海道洞爺湖サミット推進本部の構成員＞  
各部長、職員監、危機管理監、知事室長、知事政策部参事監、経済部参事監、農政部参事監、出納局長、各支庁長、東京事務所長、教育庁教育次長、警察本部警備部長、議会事務局局長、企業局長

推進本部には幹事会が設置され、サミット準備に関する事務的な調整が行われたほか、保健福祉部長を部会長とする「保健医療対策部会」(H19.10.9 設置)、北海道洞爺湖サミット推進局参事を部会長とする「ロジ調整部会」(H19.12.26 設置)がそれぞれ設置された。

### 【開催状況】

H19.6.18(推進本部)

・推進本部の設置について

H19.7.25(幹事会)

・独・ハイリゲンドムサミットの視察結果  
・サミットに関する取組について  
・サミットに向けた各部等の検討状況について

ほか

H19.9.27(幹事会)

・サミットに関する取組状況  
・サミットに関する直近の情報等

ほか

H19.12.13(幹事会)

・サミットに関する取組状況  
・ロジ準備状況等について  
・IMC整備事業の落札者決定について  
・サミットを巡る警備情勢と準備状況について

ほか

H20.2.22(幹事会)

・ガイアナイトについて  
・平成20年度におけるサミットの連携事業について

ほか

H20.4.11(幹事会)

・北海道情報館の企画案について  
・サミットにおける取組(消防及び保健医療)  
・サミットにおける連携事業の取組

ほか

H20.4.23(幹事会)

・道民会議H20年度事業計画及び予算について  
・道民会議連携事業の情報発信について

H20.5.16(推進本部)

・サミットに向けた取組について

H20.7.1(推進本部)

・サミットにおける連携体制について

H20.9.5(幹事会)

・サミット開催概要報告書について  
・ポスト・サミットの取組について  
・北海道洞爺湖サミット展の開催について  
・サミット活用食材リストについて

### (4)サミット期間中の体制

サミット期間中においては、開催支援や北海道情報発信の様々な業務を円滑に実施するため、担当職員の増員配置とともに現地事務所を設置した。

期間中は、札幌(道庁)を洞爺湖等に設置した現地事務所を統括する拠点とした。期間中の情報伝達については、既存の北海道洞爺湖サミット推進

本部の枠組みを活用し、各部局等との連絡調整を図り、教育庁や警察本部も含め、全庁を挙げて、サミットの円滑な開催に向けて支援を行った。

また、外務省からもアウトリーチ対応の職員が札幌に常駐したほか、札幌市もアウトリーチ国支援のための職員を配置するなど、幅広い対応が行われた。

### ア 各部局からの職員の応援

開催に向けた準備と期間中の対応のため、平成20年6月16日(月)から7月10日(火)までを派遣期間として、48名が増員された。

また、7月1日(火)から10日(火)までの10日間は、外務省が担当する業務への応援者48名を含めて、サミットへの重点的な対応のために、さらに80名が増員された。(業務内容等により、応援者の派遣期間は7月4日(金)から5

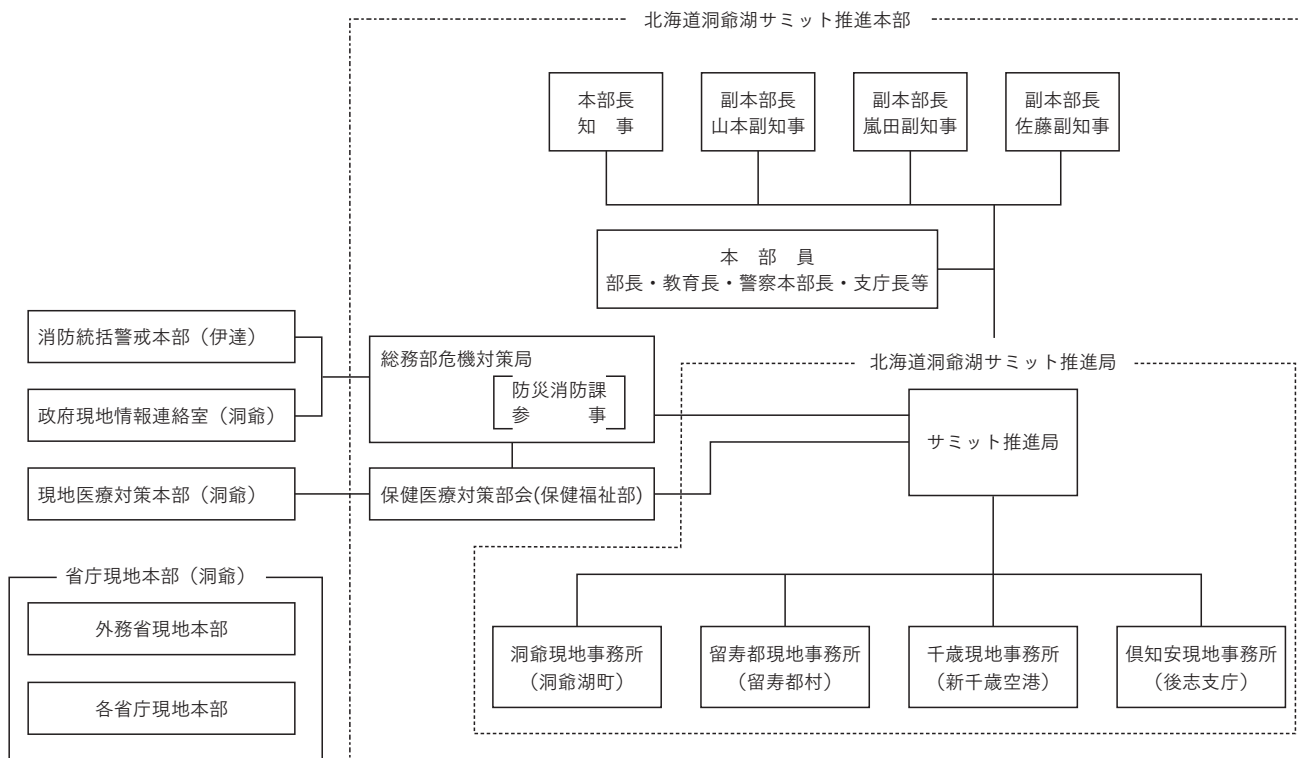
日(土)の2日間から、10日間までさまざまであった。)

### イ 現地事務所の設置

サミット期間中に、円滑な支援、情報発信を行うため、洞爺、留寿都、千歳、倶知安の各地区に現地事務所を設置し、道の推進局職員(=道民会議事務局員を兼業)、民間企業等から道民会議事務局への派遣職員、道の各部局等応援者がそれぞれの事務所に配置され、一体となって取組を推進した。

現地事務所の設営にあたっては、事務室を借り上げたほか、事務机、椅子、パソコン、電話等、幅広い事務備品をレンタル等で調達したほか、インターネット環境を整備するなど、札幌における執務環境と同程度の環境を確保できるよう、留意した。

北海道洞爺湖サミット期間中の情報連絡系統



## 【現地事務所の設置箇所等】

	設置場所	主要業務
洞爺	洞爺湖町 旧火山科学館 <sup>※1</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外務省からの情報収集(首脳・配偶者の動向、サミットの進捗状況等)</li> <li>・会議支援、会議に伴う行事等支援</li> <li>・配偶者プログラム支援</li> <li>・NGOの動向把握</li> </ul>
留寿都	ルスツリゾート 内スキーロッカー室 <sup>※2</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際メディアセンター(IMC)運営支援</li> <li>・IMC内発表事項の把握等情報収集</li> <li>・北海道情報館運営</li> <li>・トラベルサポートデスクの運営</li> <li>・Yôkoso! HOKKAIDO PASS発行</li> </ul>
新千歳	合同事務棟 (国土交通省 仮設)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専用機等の発着情報把握</li> <li>・各国首脳等歓迎行事</li> </ul>
	ターミナルビル 内団体待合室1C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港でのサミットインフォメーション</li> <li>・インフォメーション機能とりまとめ</li> <li>・ボランティアスタッフ管理</li> <li>・Yôkoso! HOKKAIDO PASS発行</li> </ul>
倶知安	後志支庁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「北のまるしえ」実施支援</li> <li>・開催当日のプレスツアー実施支援</li> <li>・配偶者プログラム支援</li> </ul>

※1 洞爺湖エリアでのサミット開催にあたり、外務省が平成20年5月19日から「日本政府現地事務局」を、洞爺湖町立の旧火山科学館に設置した。道では、この建物の4階に現地事務所を設置した。

※2 IMCが設置されたルスツリゾートには、道民会議が北海道情報館を設置した。この情報館に隣接する箇所に、現地事務所を設置した。

## ウ 外務省業務への応援

開催期間中を中心に、サミット開催支援のため、外務省の現地事務所にも、胆振支庁、後志支庁在勤職員を中心に、48名の道職員が派遣された。(洞爺湖町職員4名、留寿都村職員1名も外務省に派遣された。派遣期間は、最長で7月1日(火)から10日(木)の間。)

### 【洞爺 20名】

- ・洞爺湖ヘリポート誘導業務
- ・ザ・ウィンザーホテル洞爺内取材協力支援業務
- ・ザ・ウィンザーホテル洞爺への業者誘導 等

### 【留寿都 15名】

- ・取材協力
- ・シャトルバス配車
- ・配偶者プログラム行事支援 等

### 【新千歳 10名】

- ・各国報道機関に対する各種取材支援

### 【札幌 3名】

- ・アウトリーチ国首脳滞在宿泊調整業務
- ・丘珠ヘリポート連絡調整業務

## 2 北海道洞爺湖サミット道民会議

### (1) 設立の経緯

平成19年5月25日(金)、「2008年北海道サミット誘致推進協議会」の構成団体18機関の事務局長等を発起人とする『「(仮)北海道洞爺湖サミット道民会議」設立発起人会』が設立された。

発起人会では、推進組織となる(仮)北海道洞爺湖サミット道民会議のあり方について議論するとともに、ドイツ・ハイリゲンダムサミットへの北海道訪問団の派遣について決定した。

この決定を踏まえ、6月6日(水)から6月12日(火)までの間、道内経済界や産業界、道など19名で構成する「ドイツ・ハイリゲンダムサミット北海道訪問団」が訪独し、ハイリゲンダムサミットにおける首脳会議場やプレスセンター等主要施設を視察したほか、現地関係者からの情報収集を行う等、サミットの運営について調査を行った。これにより、様々な緊急事態を想定した危機管理体制の構築や、住民への情報提供体制の整備、緊急事態における関係者の移動手段的確保等の必要性を認識するとともに、首脳会議のほか、様々なプログラムを円滑に進めていくための地元の支援体制が重要であることを確認した。

これらを踏まえ、6月18日(月)、道内の行政、経済、観光等各分野の計73団体が官民一体となって北海道全体の受入体制を確立するとともに、併せて関連する事業の実施により本道の活性化に資することを目的とする「北海道洞爺湖サミット道民会議」を設立した(道民会議規約及び構成団体一覧はP166参照)。



道民会議設立総会 (6/18)



## (2)組織体制

### ア 総会・役員会・部会

道民会議は、①サミット開催に対する支援、協力及び受入れに向けた準備の推進、②サミット関連事業の企画及び実施、③サミット開催に関する広報・啓発等を行うこととし、その基本方針や決算等を決議する「総会」、事業計画や予算、道民会議の運営に関すること等を決議する「役員会」を置くとともに、会長の指名により、5名の顧問が就任した。

#### 【道民会議の役員及び顧問】

会 長	北海道知事
副会長	北海道経済連合会会長、(社)北海道商工会議所連合会会頭、北海道経営者協会会長、北海道経済同友会代表幹事、(社)北海道観光振興機構会長、北海道農業協同組合中央会会長、札幌市長、北海道洞爺湖サミット胆振地域推進会議会長
理 事	北海道商工会連合会会長、(社)北海道建設業協会会長、ホクレン農業協同組合連合会代表理事会長、北海道漁業協同組合連合会代表理事会長、北海道木材産業協同組合連合会代表理事会長、(社)洞爺湖温泉観光協会会長、北海道市長会会長、北海道町村会会長、後志支庁サミット推進会議会長
監 事	北海道中小企業団体中央会会長、北海道商店街振興組合連合会理事長
顧 問	(社)日本経済団体連合会会長、北海道議会議長、札幌市議会議長、北海道市議会議長会会長、北海道町村議会議長会会長

また、必要に応じ道民会議に「部会」を設置することができるものとされ、8月、事業プロジェクトの企画・立案や資金計画等に関する業務を行う「企画運営部会」、及び事業計画や事業の実施に関する業務を行う「事業推進部会」を設置した。

企画運営部会は、北海道経済連合会常務理事・事務局長を部会長とし、経済、観光、運輸関係等 28 団体により構成され、事業推進部会は、(社)北方圏センター事務局長を部会長とし、

行政、市民・文化・国際交流関係、環境、教育関係団体等 35 団体により構成された(道民会議部会運営要綱及び部会構成員は、P170 参照)。

なお、道民会議構成員中、医療・衛生関係団体については、その役割がサミット開催への支援・協力であり、プロジェクトの企画や事業実施等を伴わないことから、部会には参加しなかった。



役員会 (H19.9.7)

これら総会等の会議は、道民会議の設立以降、総会 2 回、役員会 3 回、部会延べ 12 回を開催し(本書発行時点)、関連事業の企画・実施等の推進にあたった。併せて、役員会を構成する団体相互の意思疎通を密にし、道民会議の取組を一層円滑にするため、役員会を構成する団体の事務局長等による会議を適宜開催した。

また、部会には、その運営を円滑に行うため、企画運営部会内に「環境技術ワーキング」、「道産食品利用促進ワーキング」及び「観光振興プログラムワーキング」が設置され、北海道経済連合会、ホクレン農業協同組合連合会、(社)日本旅行業協会北海道支部がそれぞれのリーダーとなり、様々な取組の検討を進めた。

【道民会議各種会議の開催状況】

H19.6.18(総会)	・道民会議の設立、道民会議の役員選任 等
H19.7.18(事務局長等会議)	・事業計画のフレーム、宿泊予約センターの設置、部会の設置 等
H19.8.1(企画運営部会)	・部会長選出、道民会議事業検討(想定)、事業予算(想定)、寄附金 等
H19.8.1(事業推進部会)	・部会長選出、道民会議事業検討(想定) 等
H19.8.24(企画運営部会)	・役員会に提案する「事業計画」案及び「資金計画」案、ワーキング設置 等
H19.8.24(事業推進部会)	・役員会に提案する「事業計画」案 等
H19.9.7(役員会)	・事業計画・予算、寄附等の取扱、首脳会議関連行事に係る提案 等
H19.10.9(事務局長等会議)	・首脳会議関連行事の提案、北海道情報館の設置 等
H19.11.29(企画運営部会)	・ワーキングの検討結果報告 等
H19.12.12(事務局長等会議)	・ワーキングの検討結果報告、未来への夢・世界との絆プロジェクト 等
H19.12.17(事業推進部会)	・事業計画策定後の主な取組と今後の予定、ワーキング検討結果 等
H20.1.16(事務局長等会議)	・環境総合展開催、弁当供給センター設置、北海道情報館設置、ガイアナイト実施、歓迎装飾 等
H20.4.7(事務局長等会議)	・北海道情報館、歓迎交流事業、アウトリーチ招待国との交流 等
H20.4.17(企画運営部会、事業推進部会)	・平成20年度事業計画案、収支計画案 等
H20.4.21(役員会)	・平成20年度事業計画案、予算 等
H20.9.1(企画運営部会、事業推進部会)	・サミット開催概要報告、決算見通し 等
H20.11- (企画運営部会、役員会、総会)	・決算報告、財産の取扱 等

イ 事務局

道民会議の事務局は、北海道知事政策部北海道洞爺湖サミット推進局内(道庁別館12階)におかれ、事務局長、同次長のもと、総務、会議、事業、支援の4グループで構成された。

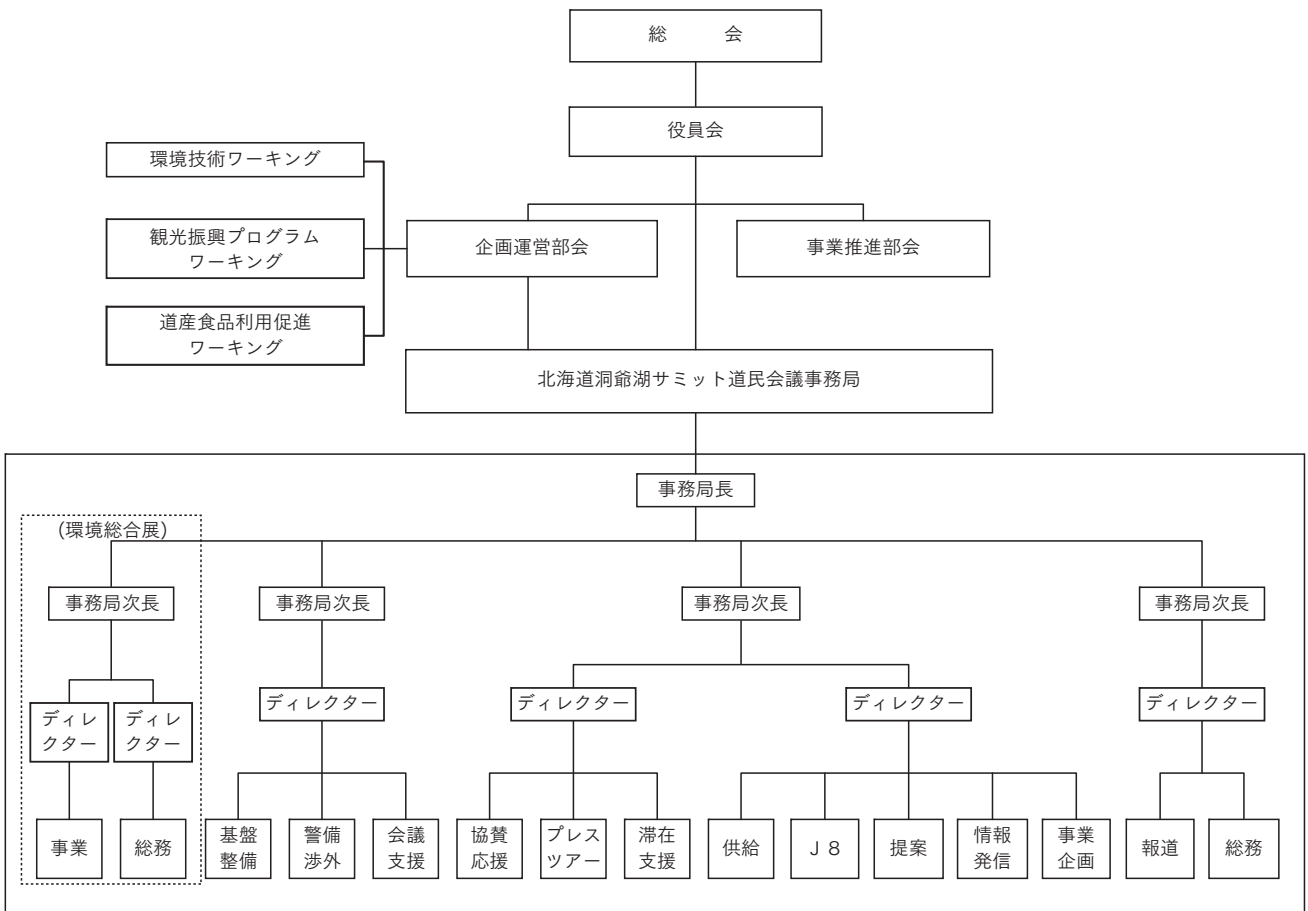
平成19年6月に道職員35名からスタートし、民間企業からの派遣職員(18名)や、外務省(1名)、札幌市(2名)、千歳市、洞爺湖町(各1名)を加えて官民一体での運営を行い、サミット直前の6月には最大で117名の職員が開催準備等の業務に当たった。

【道民会議事務局への職員派遣を行った民間企業】

・北海道電力(株)	3名
・(株)北洋銀行	2名
・(株)北海道銀行	1名
・(株)NTTドコモ北海道	1名
・(株)札幌銀行	1名
・ホクレン農業協同組合連合会	1名
・北海道テレビ放送(株)	1名
・北海道旅客鉄道(株)	2名
・東日本電信電話(株)北海道支店	1名
・(株)北海道新聞社	1名
・中道リース(株)	1名
・松本建工(株)	1名
・(株)JTB北海道	} 1名
・(株)日本旅行北海道	
・近畿日本ツーリスト(株)北海道営業本部	
・(株)ビックカメラ	1名
計	18名

北海道洞爺湖サミット道民会議の組織概要

H20.5.26現在



【北海道洞爺湖サミット道民会議事務局職員数の推移】

年月日	人員数	内訳			
		国	道	市町村	企業
平成19年	6月18日	35		35	
	7月2日	37		35	2
	7月9日	39		35	4
	7月17日	41		35	6
	7月20日	42		35	7
	7月25日	43		35	8
	8月1日	46		35	10
	9月1日	47	1	35	10
	12月1日	48	1	35	10
平成20年	12月16日	52	1	39	10
	1月1日	53	1	39	10
	1月9日	54	1	39	11
	1月25日	55	1	39	12
	2月1日	64	1	46	13
	2月18日	65	1	46	14
	3月1日	67	1	46	16
	3月16日	68	1	47	16
	3月17日	70	1	47	18
	4月1日	70	1	47	18
	6月16日	117	1	94	18
	6月30日	115	1	94	17
	7月7日	115	1	94	17
	7月11日	68	1	47	17
7月16日	67	1	47	16	
7月31日	47	0	47	0	
8月1日	26		26		
8月16日	25		25		
10月1日	24		24		
11月1日	16		16		

### 3 北海道洞爺湖サミット推進特別委員会

道議会内には、サミットについて必要な調査を行うことを目的に、平成19年第2回定例会開会日の6月15日(金)、「北海道洞爺湖サミット推進特別委員会」が設置された。

北海道洞爺湖サミット推進特別委員会では、設置から平成20年10月2日(木)の調査終了までの間、計21回にわたって、サミット開催に向けた道の取組状況などの報告及び説明の聴取、関連する質疑が行われた。

また、次のとおり、諸行事への委員派遣や中央要請、現地調査などが実施された。

#### 【委員会の活動状況】

- H19. 7. 7  
一年前イベント参加(委員長)

---

- H19. 8. 2～8. 3  
国の施策・予算に関する中央折衝

---

- H19. 8. 29～8. 30  
地域住民懇話会(洞爺湖町、壮瞥町、豊浦町)参加(正副委員長)

---

- H19. 9. 3  
現地調査及び意見交換会開催(15名参加)(現地調査:ザ・ウインザーホテル洞爺、ルスツリゾート。意見交換会:洞爺湖町)



洞爺湖町における意見交換会 (H19.9.3)

- H19. 10. 15  
地域住民懇話会(留寿都村)参加(正副委員長)

---

- H19. 11. 16  
北海道洞爺湖サミットのタペ参加(正副委員長)

---

- H19. 11. 19～11. 21  
道外(沖縄県)調査(14名参加)



万国津梁館における説明聴取 (H19.11.20)

- H19. 11. 22  
国の施策及び予算に関する中央折衝

- H19. 12. 21  
国の施策及び予算に関する中央折衝

---

- H20. 3. 28  
サミット関係者に提供する弁当の試食会(副委員長)

---

- H20. 4. 5  
内閣総理大臣によるサミット会場視察同行(委員長)

---

- H20. 4. 15～4. 16  
サミットの円滑な推進に関する中央折衝

---

- H20. 6. 5  
地域住民懇話会(洞爺湖町)参加(正副委員長)

---

- H20. 6. 12  
総合警備訓練視察(正副委員長)

---

- H20. 6. 19  
北海道洞爺湖サミット記念環境総合展2008オープニングセレモニー出席(副委員長)

---

- H20. 6. 24  
地方自治法施行60周年記念貨幣打ち初め式参加(正副委員長)

---

- H20. 7. 5  
国際メディアセンター及び北海道情報館開所記念レセプション等参加(11名参加)

---

- H20. 7. 6  
アウトリーチ国・国際機関歓迎レセプション参加(17名参加)

---

- H20. 7. 8  
アウトリーチ国・国際機関歓迎レセプション参加(17名参加)

---

- H20. 7. 10  
サミット警備終了に伴う特別派遣部隊離道式出席(正副委員長)

---

- H20. 7. 17～7. 18  
サミットを契機とした本道の活性化等に関する中央要請実施

#### 【北海道洞爺湖サミット推進特別委員会】

委員長：神戸典臣(自民党・道民会議)

副委員長：滝口信喜(民主党・道民連合)

理事：小野寺秀(自民党・道民会議)

中山智康(民主党・道民連合)

田村龍治(民主党・道民連合)

千葉英守(自民党・道民会議)

金岩武吉(フロンティア)

荒島 仁(公明党)

委員：市橋修治(民主党・道民連合)

堀井 学(自民党・道民会議)

真下紀子(日本共産党)

中村裕之(自民党・道民会議)

山本雅紀(自民党・道民会議)

遠藤 連(自民党・道民会議)

加藤礼一(自民党・道民会議)

沖田龍児(民主党・道民連合)

木村峰行(民主党・道民連合)

林 大記(民主党・道民連合)

伊藤条一(自民党・道民会議)

合計19名(内訳：自民9名、民主7名、公明1名、フロンティア1名、共産1名)

## 4 国や市町村等関係機関との協力体制

### (1)北海道洞爺湖サミット連絡会議

北海道内に事務所を有する国の主な出先機関等との連絡体制を整備することにより、情報の共有を図り、国・道の連携を密にすることを目的に「北海道洞爺湖サミット連絡会議」を開催した。

#### 【構成機関】

- ・北海道に事務所を有する国の出先機関(順不同)
- 北海道総合通信局、札幌入国管理局、北海道公安調査局、札幌地方検察庁、北海道財務局、札幌国税局、函館税関、北海道厚生局、北海道労働局、小樽検疫所、北海道農政事務所、北海道森林管理局、動物検疫所北海道出張所、横浜植物検疫所札幌支所、北海道経済産業局、北海道開発局、北海道運輸局、札幌航空交通管制部、東京航空局新千歳空港事務所、札幌管区气象台、第一管区海上保安本部、北海道地方環境事務所、陸上自衛隊北部方面総監部、海上自衛隊大湊地方隊、航空自衛隊北部航空方面隊

#### 【開催状況】

第1回	開催日	平成19年6月11日(月)
	議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡会議の開催について</li> <li>・サミットに関わるこれまでの経過について</li> <li>・ドイツ・ハイリゲンダムサミット北海道訪問団について 等</li> </ul>
第2回	開催日	平成19年7月30日(月)
	議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツ・ハイリゲンダムサミット北海道訪問団の報告について</li> <li>・サミットに関する取組について</li> <li>・各機関の取組状況について 北海道運輸局、札幌管区气象台、北海道地方環境事務所の取組 等</li> </ul>
第3回	開催日	平成19年10月24日(水)
	議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の取組について</li> <li>・道民会議事業計画について</li> <li>・首脳会議関連行事について</li> <li>・地元自治体における取組について 等</li> </ul>
第4回	開催日	平成20年6月26日(木)
	議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サミットに関する道の取組について(サミット全体日程、サミット開催期間中の北海道の体制、北海道情報館、ガイアナイト、J8サミット、NGO)</li> <li>・サミットに関する各機関の取組について 北海道運輸局、北海道総合通信局の取組 等</li> </ul>

### (2)北海道洞爺湖サミット関係市町村連絡会議

サミット関係市町村が、歓迎基盤の整備、地域住民の安全確保、情報の提供体制の整備など幅広く情報を共有し、抱えている課題を解決することを目的として「北海道洞爺湖サミット関係市町村連絡会議」を開催した。

#### 【構成市町村】

- 札幌市、千歳市、登別市、伊達市、ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、倶知安町、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町

#### 【開催状況】

第1回	開催日	平成19年12月6日(木)
	議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サミットに関する道の取組について(ロジスティクス業務の全体像、道民会議事業)</li> <li>・サミットに関する歓迎事業について(観光ホスピタリティステップアップ事業、北海道花いっぱいでお迎えプロジェクト)</li> <li>・サミットの安全確保に向けた地域ぐるみの取組について</li> <li>・サミットに関する情報の住民への提供について 等</li> </ul>
第2回	開催日	平成20年4月11日(金)
	議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サミットに関する道の取組について(北海道花いっぱいでお迎えプロジェクト、J8サミット、国際メディアセンター)</li> <li>・サミットの安全確保に向けた地域ぐるみの取組について 等</li> </ul>
第3回	開催日	平成20年6月26日(木)
	議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サミットに関する道の取組について(サミット全体日程、北海道情報館、ガイアナイト、J8サミット、NGO関連)</li> <li>・北海道洞爺湖サミットに関する市町村の取組について 等</li> </ul>

